

まともな
国会運営を

「改憲」いらない 「くらし第一」の政治に

国民は「改憲」など望んでいません

「消費税10%になったら暮らせない!」「この頃、地震が多いけれど、防災対策大丈夫?」国民の声を無視して、安倍首相は「改憲」に前のめりです。

しかし、そもそも憲法は、権力者が国民の権利を奪わないように、権力者の手を縛るものです。だからこそ、憲法第99条で、大臣や国会議員は憲法を守らなければならないと定めています。首相が「改憲」の号令をかけるなど、憲法違反であり、やってはならないことです。

さらに、国民は「改憲」など望んでいません。国民が政治に求めているのは、社会保障や経済対策です。「憲法を変えること」ではなく「憲法を生かして、くらしを守る」ことを望んでいるのです。

「拙速審議」「採決強行」で民主主義を壊すな

外国人技能実習生や外国人留学生の奴隷的な働かせ方・人権侵害を放置したまま、外国人受け入れを進める「入国管理法改定案」。この法案自体、中身は空っぽ。議論の資料は虚偽データ。さらに、政府は法案審査に不可欠な資料も提出しないなど、問題だらけです。世論調査でも「今国会での成立にこだわるべきではない」が81.7% (FNN11月17、18日調査) にのぼっています。まともな審議なしの強行など認められません。

さらに、水道事業を民営化する水道法改悪や、大企業の漁業への参入を拡大する漁業法改悪なども、十分な審議をしないまま、国会強行がねらわれています。

民主主義の根幹を揺るがす大問題です。国会を「悪法製造マシン」にしてはなりません。



9条変えるな 9条生かそう

安倍首相がねらう「9条改憲」は、憲法9条に「自衛隊の保持」を明記して、「戦力の不保持」を定めた9条2項を壊そうとするものです。書きこまれる「自衛隊」は、「米軍と一体となって、戦争する自衛隊」です。「災害救助で頑張る自衛隊」ではありません。

自衛隊を「殺し殺される軍隊」にしてよいのでしょうか。日本を「海外で戦争する国」にしてよいのでしょうか。福祉を削って軍事費に税金をつぎ込む国にしてよいのでしょうか。日本の未来が問われています。

朝鮮半島では、対話と外交を積み重ねて、非核化と平和に向けた動きが始まっています。「対話で平和を」という憲法9条を生かす政治と外交こそが求められているのではないのでしょうか。

あなたも「3000万人署名」を